



細井 公議員
(白新会)

問 市内商業の
今後の見通しは

27年のプレミアム商品券事業以来、商業の活性化策を打ち出していない。白岡特産館の閉館で特産品開発事業の今後の見通しは。また、再度の市内商業の活性化策として、プレミアム商品券以外の手法による購買促進策の実施を検討すべきでは。

答 商業の活性化に向けて
継続的に支援する

特産品は、しらおか味彩センターで販売を継続しており、白岡産トマトを使用した2品も完成し、商品化に向けて取り組んでいく。商業の活性化については、商工会、各商店会とともに、購買促進が図られるよう、各種事業を継続的に支援していきたい。

問 図書館の貸し出し強化と
利用率は

市の図書貸出数は、県平均より低い。新図書館は環境面は良くなったが、駅から遠くなり利便性が低下したという意見もある。こもればの森での催事などでの集客を図るとともに、図書返却ボックスの駅周辺配置を検討すべきでは。

答 市のHPでお知らせする
などPRを図る

市主催以外の事業についてもHPでお知らせするなどのPRを図る。あわせて、社会教育団体に多目的ホールの利用について働きかけをしていく。なお、1月11日に中央公民館、勤労者体育センターおよびコミュニティセンターに図書の返却ボックスを設置している。



コミュニティセンターに設置の返却ボックス



菱沼あゆ美 議員
(公明党)

問 市民に寄り添った
公共施設に

グラウンドゴルフ道具の運搬に困難が生じている。運動公園などに置いたり、市で備品として置けないか。また、洋式トイレをオストメイト対応の暖房便座にしてはどうか。施設の長寿命化と合わせ小さな改修を、バリアフリーの視点を入れて行うべきだが。

答 状況に応じ対応する

総合運動公園には、道具を配備していく。その他の公園は、備品管理が行えないためむずかしい。洋式トイレのオストメイト対応や暖房便座の設置は、状況に応じ総合的に判断する。総合管理計画の見直しを通じて、ユニバーサルデザインに配慮した管理に努める。

問 図書館で「誰でも読書」
の取組を

障がい児・障がい者や読み書きの困難な人などへの読書支援が必要である。分かりやすい本＝LLブックの配架・図書館案内ツアーの実施・やさしい利用ガイドの作成をしてはどうか。また、コスト削減のため「雑誌スポンサー制度」の再活用をすべきではないか。

答 各々の取組を進める

さまざまな方に図書館を利用していただくため、LLブックを購入した。市内の障がい者施設を対象とした案内ツアーを開催する。わかりやすい表現を用いた利用ガイドを用意する。雑誌スポンサーの制度について広く周知を図り、スポンサーの獲得に努めていく。



配架されたLLブック